

ヤサカ自動車(株)中央営業センター黄班 古都研 平成30年1月度 資料

京都西山の観光名所

平成30年1月15日 古都研実施

京都西山の観光名所

【愛宕神社＝愛宕山＝標高924 M＝愛宕さん】

京都市右京区の北西部、山城国と丹波国の国境にある山である。京都市街を取り巻く山の中で、比叡山と並びよく目立っており、信仰の山としても知られる。

全国の愛宕神社の総本社。
全国に約 900 社ある愛宕神社の総本社。火伏せ・防火に靈験のある神社として知られている。

三歳までにお参りすると(五歳までという説もある。)無病息災、火事などにはあわない。

海上自衛隊、金剛型護衛艦 イージス艦 あたご の艦名はこの山から取られた。
海上自衛隊の艦名の方式は旧日本帝国海軍の方式で命名されている。

唯一の例外は DDH 護衛艦「しらね」。本来は地域の名前だが当時の防衛庁長官金丸信が思いつきでつけた。
後に金丸信は北朝鮮から金の延べ棒4本4億円相当を受け取り脱税で逮捕された。拉致事件も隠そうとした。

本能寺の変の直前に明智光秀が愛宕神社を参詣し愛宕百韻を詠んだことでも知られる。
光秀の発句「時は今 雨が下しる 五月哉」。
この頃の五月雨はどしゃぶりの雨を表す。シトシトとは降っていない様子を表している。
意味＝土岐氏である自分の今の状況は土砂降りの雨の中のようにでんでこ舞いである。(諸説あり)
第2句(光秀ではない) 水上まさる庭のまつ山 =意味＝源氏の者が国をまとめるのを待っていますよ。

亀岡市から愛宕山への登山道は光秀が通ったことから「明智越え」と呼ばれている。
現在の9号線を通って来たわけではない。亀岡、保津峡、水尾、鳥居本の経路。

【白雲寺】＝消滅＝比叡山に匹敵する寺域。高雄、梅尾、槇尾、三尾の寺は白雲寺の塔中との説あり。

【山口玄洞】神護寺金堂などは山口玄洞が寄付をして昭和になって大修理された。

山口玄洞は実業家、帝国議会議員でもあり、社会事業や寺社に多くの寄付を行い、寄付金王。
由緒正しい寺であること。景勝の地にあること。住職の人品が優れていること。
この3条件をもとに選定し、方広寺、大徳寺別院、延暦寺、醍醐寺などにも伽藍寄進を行いました。
新築だけで約 100 件、修理も約 50 件に上り、とんでもない資力。

新聞記者などを料亭に全員集めて大宴会を開き、寄付の事を一切記事にはしてはならない、と命令した。

.....
.....
.....
.....

【嵐山】

嵐山の名前の由来。季節によって山の景色が嵐のように変わるから、という説と、奈良吉野から桜を持ってきて植えたので、という説の2節ある。奈良吉野にも嵐山(らんざん)がある。修験道、金峯山寺に関係する大悲閣があるので吉野の嵐山説も捨てがたい。

渡月橋、こときき橋(琴聞橋)。現在はコンクリート製だが古来からのデザインを保っている。角にある”こときき茶屋”の名前はここからきている。映画、男はつらいよ、の撮影も行われた。

日吉ダムができるまでは台風の度に渡月橋の両側は水に使った。中ノ島はいつも水没。2014年の台風の時、老舗には大きな被害が出なかったが新規参入の店に大きな被害が出たのはこの影響。

左岸に西高瀬川の取水路がある。昔はこの西高瀬側を使って、千本三条まで材木を運搬した。千本三条西側付近に材木会社や組合があるのはこの影響。現在は使っていない。

これらの材木問屋などが路面電車施設に反対したので千本三条から四条大宮への斜めの道路、後院通りができた。路面電車の車庫のあった所が市バスの壬生車庫。

十三参り 虚空蔵さん 虚空蔵法輪寺 お参りした後、後ろを振り返ってはいけない。数え歳の十三歳で行う。現在は中学校入学前に行うのが普通。

50年ほど前は岩田山モンキーパークの野生猿の2群の内の荒い方の1群に寺が被害に会い荒れていた。この荒い方の1群は捕まえられてアメリカテキサスへ送られた。消息はわからない。他の1群も荒かったが現在は京大の支援と餌付けの成功により大人しくなった。

【松尾】

松尾大社 秦氏の氏神 日本酒醸造の神 大山杭神 神紋＝二葉葵。
山に杭を打って、領地を平定した大人物なので大山杭神。

イスラエル同祖論者は、松尾＝マツオ＝マツツア＝鏡餅状のパンのような食べ物、と同じという。
日本海側から、松尾寺、松尾神社は数多い。
月読神社 松尾大社の荒魂

神紋＝二葉葵の神紋＝下賀茂、上賀茂神社と関係。賀茂氏は秦一族の一派。
秦氏の息子と賀茂氏の娘が結婚して住んだ所が上賀茂神社。別雷神社。雷、赤い矢は秦氏を表す。

苔寺＝西芳寺 完全予約制。往復はがきで予約申し込み確認必要。拝観料3000円。説教、写経、お茶、拝観。

鈴虫寺＝華厳寺 拝観混雑。法話が人気。特に女性に人気。ハイヤーの場合には奥の駐車場に入れる。

竹の寺＝地藏院。駐車場は狭い。3台程度。切り替えし困難。雪の日には行かない方がよい。チェーン必要。

.....
.....
.....

【檜原】

檜原廢寺跡 市営住宅建設中に発見された八角塔基壇があり史跡公園となっている。

全域の大きさから大阪の四天王寺規模の伽藍があったことが確認されている。
周囲を詳しく発掘研究されれば古代史がひっくり返る。
この京都の西山にもう一つの都があった事になる。

【大原野】

【花の寺 勝持寺】 2月は拝観できない。

【大原野神社】。京春日。秦氏に対抗。源氏物語、紫式部の氏神。

【善峯寺】＝西国観音霊場第二十番札所＝遊龍の松。桂昌院＝おたま＝たまの輿。
桂昌院ストーリー（後述）。

【光明寺】 西山浄土宗総本山。金戒光明寺＝黒谷さんとよく間違う。
熊谷次郎直実＝後の熊谷蓮生法師。黒谷さんに鎧を置いた。
法然上人(浄土宗)に帰依。駐車場は無い。

鳩居堂の歴史。東京の鳩居堂と京都の鳩居堂は別法人。元は親戚。

【長岡京】

長岡京(ながおかきょう)は、山城国乙訓郡(現在の京都府向日市、長岡京市、京都市西京区)にあった古代日本の都城。

宮域跡は向日市鶏冠井町(かいでちょう)に位置し、「長岡宮跡」として国の史跡に指定されている。

延暦3年(784年)11月11日に平城京から遷都され、延暦13年(794年)10月22日に(10年間)平安京に遷都されるまで機能した。

長岡京は桓武天皇の勅命により、平城京から北へ40kmの長岡の地[注1]に遷都して造営され[注2]、平城京の地理的弱点を克服しようとした都市であった。長岡京の近くには桂川や宇治川など、3本の大きな川が淀川となる合流点があった。

全国からの物資を荷揚げする港「山崎津」を設け、ここで小さな船に積み替える。そこから川をさかのぼると直接、都の中に入ることができた。長岡京にはこうした川が3本流れ、船で効率よく物資を運ぶことができ、陸路を使わざるを得なかった平城京の問題を解消できた。

発掘調査では、ほぼ各家に井戸が見つかることから、そこに住む人々も豊かな水の恩恵を受けていたと言える。

平城京で問題となっていた下水にも対策が立てられた。道路脇の流れる水を家の中に引き込み、排泄物を流すようになっていた。長岡京の北西で湧いた豊かな水は、

緩やかな斜面に作られた都の中を自然に南東へ流れ、これによって汚物は川へ押し流され、都は清潔さを保っていた。桓武天皇は自らの宮殿を街より15mほど高い地に築き、天皇の権威を目に見える形で示し、長岡京が天皇の都であることを強調した。

【長岡天満宮】=長岡天神。菅原道真。天神信仰。真っ赤な冴え渡る赤の霧島つつじが美しい。
見返り天神。桂離宮との関係。

現社地周辺は平安時代、菅原道真の所領であったとされ、道真が在原業平らと共に、しばしば遊んで詩歌管弦を楽しんだ縁深いところであるという。

道真が大宰府へ左遷された時、長岡に立ち寄り、「我が魂長くこの地にとどまるべし」と名残を惜しんだ。左遷の際道真に付き従ったのが、菅原氏の一族とされる中小路宗則で、宗則は高槻まで同船し、帰り際、道真から道真自作の木像と念持仏を託され持ち帰り、道真の死後に、その木像を祀ったのが当天満宮の創立とされている。

また、道真の大宰府左遷に付き従った中小路宗則は、大宰府で過ごし、道真の死後に、東小路祐房と共に、道真自作の像と念持仏を持ち帰り、祠を建てて安置したことが始まりとも言われる。

爾来皇室の崇敬篤く度々の寄進造営をうけ、寛永15年(1638年)に八条宮智仁親王によって「八条ヶ池」が築造された。

【八条宮智仁親王】

天正19年(1591年)1月、親王宣下を受け、次いで元服して式部卿に任じられる。
慶長6年(1601年)3月、一品に叙せられた。天正5年(1600年)7月、細川幽斎から古今伝授を受け、寛永2年(1625年)12月これを甥の後水尾天皇に相伝し、ここにいわゆる御所伝授の道が開かれた。

さらに造庭の才にも優れ、元和6年(1620年)から家領の下桂村に別業を造営する。
この桂御別業が現在の桂離宮であり、八条宮は後に桂宮と呼ばれた。

【桂離宮】 当日拝観は10時に整理券配布、午後からの拝観。

最古の回遊式庭園として知られ、庭園と建物が一体となって、日本的な美を形成している。
ブルーノ・タウト、ヴァルター・グロピウスといった、外国の建築家も桂離宮を、簡素さの中に美と深い精神性を表した建築及び庭園として高く評価した。

作庭者については、古くから小堀遠州とする伝承があるが、遠州自身が作庭を直接差配したとは考えがたい。
実際に作庭に携わった可能性のある人物としては、遠州の義弟である中沼左京、遠州の門下である玉淵坊などの名前が挙げられている。

昭和8年(1933年)に来日したドイツの建築家ブルーノ・タウトは桂離宮の簡素な美を絶賛し、その知名度を国際的に高めたことで知られる。タウトは昭和8年5月と翌昭和9年(1934年)5月に桂離宮を拝観し、その折の所感を著作に記している。

古書院の広縁から張り出した竹縁(月見台)から庭園を鑑賞したタウトは、その時の感興を「ここに練りひろげられている美は理解を絶する美、すなわち偉大な芸術のもつ美である。すぐれた芸術品に接するとき、涙はおのずから眼に溢れる」と表現した。

.....
.....

【細川ガラシャ】＝細川たまこ。ガラシャ祭り(11月)、細川忠興の正室、明智光秀の三女。明智たまこ。

明治期にキリスト教徒らが彼女を讃えて「細川ガラシャ」と呼ぶようになった。
現在のキリスト教徒は全国民の1%未満、100万人未満。日本国民は1億2500万人。

関が原の戦の際に石田光成の人質になりそうになるがまず息子達を殺害した後自害。
その後、大坂の崇禅寺へ埋葬された。他に、京都大徳寺塔頭・高桐院や、肥後熊本の泰勝寺等、
何箇所かガラシャの墓所とされるものがある。

【勝龍寺城】 山城の国の拠点城。

勝龍寺城は細川忠興・ガラシャ夫妻ゆかりの城としても有名である。天正6年(1578年)8月、藤孝の嫡男忠興と
明智光秀の娘お玉(細川ガラシャ)が勝龍寺城で盛大な結婚式を挙げ、新婚時代を過ごしたとされている。

羽柴秀吉と明智光成の天王山の戦いでは、秀吉軍4万に対して明智軍1万7千と秀吉軍が圧倒的優位を
持っていたが地形的理由と大山崎油座の為とで大規模戦闘には成らなかった。

【待庵(たいあん)】 妙喜庵。茶室。国宝。

日本最古の茶室建造物であると同時に、千利休作と信じる唯一の現存茶室である。現在一般化している、にじり
口が設けられた小間(こま)の茶室の原型かつ数奇屋建築の原型とされる。

待庵を見学するには、およそ1か月前までに往復はがきによる予約が必要であり、見学が許可された場合も、
にじり口からの見学で、内部に立ち入ることはできない。

近くの大山崎町歴史資料館には待庵の創建当時の姿の原寸大復元模型が展示されている。

【大山崎油座】 中世日本最大の油座。離宮八幡宮。

明智光秀はこの油座に遠慮して大規模な戦をしなかった。

大山崎油座神人は、荳胡麻の仕入れだけでなく、精製した油の販売においても広範囲に独占権を有していた。
その範囲は大和国を除く畿内(山城・摂津・河内・和泉)と、丹波・丹後・若狭・近江・美濃・尾張・備中・備後・紀
伊・伊予などに及ぶ。

.....
.....
.....
.....

【サントリー大山崎蒸留所】 サントリーの名前の由来。赤球ポートワイン、太陽、サン、と鳥井。

1985年の山崎シェリーカスクは大阪天神橋筋商店街で65万円。
シェリー酒を作った樽でスコッチウイスキーを作った。当初は全く売れなかったのを量を作らなかった。

山崎蒸溜所では、タイプの異なる複数の設備を使い分けることで、様々な特徴を持ったモルト原酒を作り分けている。

サントリーは非上場会社。個人商店。寿不動産が主たる持ち株会社。
かまどの灰までもが鳥井さん佐治さんの資産。

【アサヒビール大山崎山荘美術館】 安藤忠雄設計

アサヒビール大山崎山荘美術館(あさひびーる おおやまざきさんそうびじゅつかん)は、京都府乙訓郡大山崎町にある京都府の登録博物館。運営は公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団。大阪府と京都府の境にある天王山の山腹に位置し、真下に木津川・宇治川・桂川の三川が淀川へと合流する美しい風景を見ることができる。

【桂昌院ストーリー】

桂昌院(けいしょういん、寛永4年(1627年) - 宝永2年6月22日(1705年8月11日))は、江戸幕府3代将軍・徳川家光の側室で、5代将軍・綱吉の生母。通称は玉。『徳川実紀』によれば、父は北小路(本庄)太郎兵衛宗正。母は鍋田氏。兄に北小路道芳(後に本庄姓を賜り本庄道芳)、弟に本庄宗資がいる。

父は八百屋の仁左衛門、八百屋の娘として生まれる。名を ” たま ” と言う。
後に、参議・六条有純の屋敷に奉公にあがる。六条有純の娘、満子の付き人となる。

この満子、江戸幕府三代将軍家光の側室となり、お万のお方となる。
お万のお方、30歳でおしとね払いとなる。一旦たまは春日の局の部屋住みとなり、後に家光の側室となる。
(春日の局は家光の生母。家光、お腹は春日の局と記録がある。)

たまはお玉さまとなり、後に5代将軍綱吉の生母となる。

たまの出世ストーリーが「玉の輿」の語源となる。という説がある。

.....
.....
.....
.....